

スポーツはそれぞれに特性があり、導入の難易度、普及度、活動上の安全管理、用具・設備、気候・地理的条件、さらに各団体の組織力などが複雑にからみあって、均一な環境で指導体制の確立が容易に達成できるものではありません。

したがって、本制度は諸条件の異なる特性を考慮し、各団体の指導者養成計画の実情に合わせて各団体が主体的に取り組めるようにしています。

各団体の積極的な取組みと資格を取得した指導者各位のご理解とご協力が本制度の充実・発展につながり、更なる社会的信頼を得られるものと思います。

指導者の種類と役割

年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し、14種類の指導者資格に分類しました。

(1) スポーツリーダー

スポーツ指導の基礎的知識を学ぶ資格です。

これからスポーツに関する正しい知識を学ぼうとする方々や、既にスポーツ指導に携わっているが時間的な制約などから講習会に参加できなかった方々もチャレンジしやすい受講システムとなっています。本制度における基礎資格として位置づけており、資格取得後は地域におけるスポーツ活動の定着化や活性化をサポートする存在として活躍が期待されるだけでなく、競技別指導者資格やフィットネス系資格などへとステップアップしていただくための資格でもあります。体育指導委員の方々にもぜひ取得していただきたい資格です。

(2) 競技別指導者

ア. 指導員

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別など指導対象に合わせた指導にあたる方のための資格です。

特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくりを主眼に置き、遊びの要素を取り入れた指導ができるようにカリキュラムを構成していることから、スポーツ少年団などで小学校期の子どものための競技別指導にあたる方にはぜひ取得していただきたい資格です。

イ. 上級指導員

地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる方のための資格です。

また、地域スポーツクラブなどが実施するスポーツ教室の事業計画立案などを学ぶことができるので、クラブ内指導者の中心的な役割を担う方、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて競技別指導にもあたる方、指導員を育成する立場の方にぜひ取得していただきたい資格です。

ウ. コーチ

各競技団体の都道府県レベルにおける競技者育成を担当する方のための資格です。

広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる方、広域スポーツセンターの巡回指導に協力する方、国民体育大会の監督にあたる方など高いレベルの実技指導をする方にはぜひ取得していただきたい資格です。

エ. 上級コーチ

国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして指導にあたるなど、中央競技団体におけるナショナルレベルのトップコーチのための資格です。

各競技団体のナショナルレベルのトレーニング拠点などにおいて、各年代で選抜された競技者の育成強化や各競技団体で競技力向上策の開発に参画する方などにぜひ取得していただきたい資格です。

オ. 教師

民間商業スポーツ施設やスポーツクラブなどにおいて、競技別の専門的指導者として、質の高い指導を行う方のための資格です。

スポーツクラブ会員（顧客）が支払うメンバーフィー（対価）にふさわしい指導能力、個々人の年齢や性別、技能レベルや志向に合わせた実技指導能力を得ることができます。

カ. 上級教師

民間商業スポーツ施設やスポーツクラブなどにおいて、競技別の専門的指導者のチーフインストラクターとして、実技指導にあたるとともに、各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など中心的な役割を担う方のための資格です。